



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.9.30(金)

No. 79



文責
松永

集団宿泊教室(阿蘇青少年交流の家)に行ってきました① 五年生

5年生は、9月28・29日の一泊二日で、阿蘇青少年交流の家に集団宿泊教室に行ってきました。新型コロナウイルス感染の状況を考えて、従来は二泊三日で出かける予定を一泊にしての実施となりました。少し雲の多い天気でしたが、予定通りのプログラムができました。阿蘇は涼しいかなと思って出かけましたが、朝夕の風は涼しくて心地よかったものの、日中の晴れ間が出ている時間帯はまだまだ暑かったです。

朝、学校で行った出発式では、それぞれががんばりたいことを確認しました。私からも、「学校から学習の場を移して行く集団宿泊教室なので、いろいろな体験をして、自分自身“前進”できたと言える2日間にしてほしい。楽しい時間を過ごすためには、ルールを守ったり友達と協力したりすることを大事にしてほしい。」と話をしました。大きな荷物を持ってバスの待つ県立劇場まで歩いて行き、バスに乗り込んだら、一路阿蘇に向かいました。予定より少し早く国立阿蘇青少年交流の家に到着してから、入所式に臨みました。施設や生活のきまりなど話を聞いた後は、目の前に広がる雄大な山を眺めながら、広い草原でお弁当を食べました。そして、いよいよプログラム開始です。交流の家を出発して、目指すところは阿蘇神社です。山道をクラスごと2列になって下って歩くこと40分ほどだったでしょうか。目的地に着いた時は、「のどがかわいた」「帰りも歩くの?」と疲れた様子が見受けられましたが、神社周辺の水基めぐりがスタートすると元気が戻ってきたようで、グループごとに意気揚々と16カ所の水基を目指して歩いていました。その力となったのが、こんこんと湧き出ている水でした。冷たくておいしくて、あちこちの水を飲み比べしていましたが、結構な量の水を飲んだようでもありました。帰りは、行きと違って上り坂でしたので、「まだですか」「あとどれくらいですか」という声が結構聞かれていました。お互いに励まし合いながらがんばって歩きましたので、帰り着いた時はほっとして嬉しかった様子でした。それから、部屋に入り、荷物の整理やシーツ・枕カバーの受け取りなどをして、食堂に向かいました。しっかり活動した後でしたから、夕食もおいしかったようで、子どもたちはおかわりにも複数回並んでいました。夜のプログラムである、星の観察については、次号につなぎます。

